

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場会社名 芝浦機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6104 URL <https://www.shibaura-machine.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 坂元 繁友
 問合せ先責任者(役職名) 広報・IR部長 (氏名) 青木 稔 (TEL) 03 (3509) 0444
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	88,566	13.3	3,341	9.1	2,852	△9.1	2,545	16.7
2022年3月期第3四半期	78,197	21.3	3,061	—	3,138	—	2,181	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,975百万円(△12.1%) 2022年3月期第3四半期 3,383百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	105.36	—
2022年3月期第3四半期	90.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	191,421	84,701	44.2
2022年3月期	166,989	83,515	50.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 84,701百万円 2022年3月期 83,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
2023年3月期	—	37.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	20.6	5,000	18.0	5,400	18.8	4,300	15.4	177.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	26,977,106株	2022年3月期	29,977,106株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,814,448株	2022年3月期	5,822,705株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	24,159,358株	2022年3月期3Q	24,150,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 2023年3月期 第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響により、部材需給逼迫やエネルギー価格高騰などサプライチェーンの混乱が継続し、中国における経済活動の停滞や、米国をはじめ世界各国におけるインフレや金融引き締めなどの影響により、第3四半期連結累計期間後半にかけ景気の減速感が強まりました。わが国経済は生産、設備投資に持ち直しの動きが見られましたが、サプライチェーンの混乱や急激な為替変動などの影響を受けました。

当社グループを取り巻く経済環境は、前連結会計年度より引き続き設備投資需要が回復基調で推移したものの、中国におけるロックダウンや、中国、米国などの景気減速の影響を受けました。また、世界的に脱炭素化などの社会課題解決に向けた動きが加速していることを背景として、EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した需要の拡大が見られます。このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画である「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率(ROE)の向上を目指した財務戦略の実行に取り組むとともに、社会課題を解決する高付加価値商品の創出と高効率な生産の実現に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。成長分野に対応した投資においては、市場規模が拡大している超精密加工機、脱炭素化を背景としたEV需要の高まりにより受注が急拡大しているリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置の増産体制構築を進めました。また、成長市場であるインドにおいて当社インド工場の射出成形機生産能力増強のため新工場増設を進めています。

当第3四半期連結累計期間の受注高は1,383億2千3百万円(前年同期比15.0%増)、売上高は885億6千6百万円(前年同期比13.3%増)となりました。損益については、営業利益は33億4千1百万円(前年同期比9.1%増)、経常利益は28億5千2百万円(前年同期比9.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億4千5百万円(前年同期比16.7%増)となりました。

② セグメント別の概況

成形機事業 [射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など]

射出成形機においては、販売はロックダウン、経済活動停滞の影響により中国で減少したものの、脱炭素化の動きを背景に北米の中大型電動機が増加しました。また、経済活動が活発化しているインドで油圧機が増加しました。受注はインドで油圧機が増加したものの、中国、北米において減少しました。

ダイカストマシンにおいては、販売は国内、東南アジアにおける自動車向けが増加しました。受注は国内、韓国、東南アジア、北米などで自動車向けを中心とした設備投資需要が回復したことにより、増加しました。

押出成形機においては、販売と受注はEV関連の設備投資需要の拡大に伴い、中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が大幅に増加しました。

この結果、成形機事業全体の受注高は1,102億9千2百万円(前年同期比23.2%増)、売上高は619億7百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益は26億5千9百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

工作機械事業 [工作機械(大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など)、超精密加工機など]

工作機械においては、販売は国内における産業機械向けおよび北米におけるエネルギー関連向けが増加しました。受注は中国における風力発電向けが増加したものの、国内における産業機械向けが減少しました。

超精密加工機においては、光学系金型向けが販売は国内で減少、受注は中国で減少しました。

この結果、工作機械事業全体の受注高は201億7千7百万円(前年同期比10.7%減)、売上高は195億5百万円(前年同期比19.1%増)、営業利益は2億5千万円(前年同期は営業損失2千7百万円)となりました。

制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置など]

制御機械においては、販売は国内における電子制御装置およびシステムエンジニアリングが増加しました。受注は中国における産業用ロボットが減少しました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は68億1千2百万円(前年同期比8.0%減)、売上高は62億9千4百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は3億1千7百万円(前年同期比42.8%増)となりました。

その他の事業

その他の事業全体の受注高は10億4千万円(前年同期比37.2%増)、売上高は8億5千9百万円(前年同期比19.4%増)、営業利益は8千8百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ244億3千1百万円増加し、1,914億2千1百万円となりました。増加の主な内訳は、商品及び製品が101億8千2百万円、仕掛品が97億8千8百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ232億4千5百万円増加し、1,067億1千9百万円となりました。増加の主な内訳は、支払手形及び買掛金が88億4千万円、契約負債が153億6千6百万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11億8千5百万円増加し、847億1百万円となりました。増加の主な内訳は、為替換算調整勘定が8億2千3百万円増加したこと等によります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2022年11月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,710	49,703
受取手形、売掛金及び契約資産	23,613	24,912
商品及び製品	23,000	33,183
仕掛品	28,541	38,330
原材料及び貯蔵品	65	45
その他	7,566	13,505
貸倒引当金	△37	△55
流動資産合計	134,461	159,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,040	37,241
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,459	△27,775
建物及び構築物（純額）	9,581	9,465
機械装置及び運搬具	23,463	24,165
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,584	△20,991
機械装置及び運搬具（純額）	2,878	3,173
土地	7,142	7,143
リース資産	469	570
減価償却累計額及び減損損失累計額	△244	△294
リース資産（純額）	224	276
建設仮勘定	842	146
その他	7,084	7,230
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,607	△6,637
その他（純額）	477	592
有形固定資産合計	21,146	20,799
無形固定資産		
その他	843	852
無形固定資産合計	843	852
投資その他の資産		
投資有価証券	8,686	7,981
長期貸付金	5	4
繰延税金資産	565	1,043
その他	2,718	2,523
貸倒引当金	△1,436	△1,408
投資その他の資産合計	10,538	10,143
固定資産合計	32,528	31,795
資産合計	166,989	191,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,729	32,570
短期借入金	10,917	14,188
未払法人税等	465	174
未払費用	2,248	2,603
賞与引当金	1,894	943
製品保証引当金	618	933
契約負債	28,887	44,254
その他	2,003	1,953
流動負債合計	70,766	97,621
固定負債		
長期借入金	3,300	-
長期未払金	5	5
繰延税金負債	440	0
役員退職慰労引当金	63	45
退職給付に係る負債	8,354	8,451
資産除去債務	384	385
その他	158	209
固定負債合計	12,707	9,097
負債合計	83,474	106,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	11,538	11,538
利益剰余金	68,374	60,697
自己株式	△16,322	△7,889
株主資本合計	76,075	76,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,350	3,889
為替換算調整勘定	3,348	4,172
退職給付に係る調整累計額	△259	△191
その他の包括利益累計額合計	7,440	7,870
純資産合計	83,515	84,701
負債純資産合計	166,989	191,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	78,197	88,566
売上原価	54,836	60,840
売上総利益	23,361	27,726
販売費及び一般管理費	20,300	24,384
営業利益	3,061	3,341
営業外収益		
受取利息	60	71
受取配当金	216	302
受取賃貸料	49	38
為替差益	89	-
雇用調整助成金	290	-
その他	192	195
営業外収益合計	899	607
営業外費用		
支払利息	84	123
業務委託費用	91	73
為替差損	-	563
その他	645	335
営業外費用合計	822	1,096
経常利益	3,138	2,852
特別利益		
固定資産売却益	14	10
特別利益合計	14	10
特別損失		
固定資産処分損	115	11
関係会社出資金評価損	-	217
減損損失	-	17
関係会社株式評価損	278	-
特別損失合計	394	246
税金等調整前四半期純利益	2,758	2,616
法人税、住民税及び事業税	636	765
法人税等調整額	△59	△694
法人税等合計	577	71
四半期純利益	2,181	2,545
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,181	2,545

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,181	2,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	527	△461
為替換算調整勘定	562	823
退職給付に係る調整額	113	67
その他の包括利益合計	1,202	430
四半期包括利益	3,383	2,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,383	2,975
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	55,507	16,381	5,588	77,478	719	78,197	—	78,197
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	47	1,136	1,184	288	1,473	(1,473)	—
計	55,507	16,429	6,725	78,662	1,008	79,671	(1,473)	78,197
セグメント利益又は 損失(△)	2,759	△27	222	2,953	78	3,032	29	3,061

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,907	19,505	6,294	87,707	859	88,566	—	88,566
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	3	1,323	1,327	258	1,585	(1,585)	—
計	61,907	19,509	7,618	89,035	1,117	90,152	(1,585)	88,566
セグメント利益	2,659	250	317	3,227	88	3,316	25	3,341

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

セグメントに配分していない全社資産において、17百万円の固定資産の減損損失を特別損失として計上しております。

3. その他

(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高

① 受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	89,549	110,292	20,743	23.2
工作機械	22,606	20,177	△2,428	△10.7
制御機械	7,401	6,812	△588	△8.0
報告セグメント計	119,557	137,282	17,725	14.8
その他	757	1,040	282	37.2
合計	120,315	138,323	18,007	15.0

② 売上高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	55,507	61,907	6,400	11.5
工作機械	16,381	19,505	3,124	19.1
制御機械	5,588	6,294	705	12.6
報告セグメント計	77,478	87,707	10,229	13.2
その他	719	859	139	19.4
合計	78,197	88,566	10,368	13.3

③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	96,801	159,408	62,607	64.7
工作機械	24,406	23,982	△423	△1.7
制御機械	4,858	6,584	1,726	35.5
報告セグメント計	126,066	189,976	63,910	50.7
その他	341	570	228	66.9
合計	126,407	190,546	64,138	50.7

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。